

尾張剣道連盟主催大会 申し合わせ事項

1 団体試合

- (1) 時間内に勝敗が決しない試合は引き分けとし、延長戦を行わない。
- (2) リーグ戦の各試合においてチームの勝者数・取得本数が同数の場合は引き分けとする。
- (3) リーグ戦終了後、次により順位を決定する。
 - ① 勝ち点(チームの勝ち1、引き分け0.5、負け0)
 - ② 勝者総数
 - ③ 総取得本数① ② ③ が同数の場合は代表者戦を行う。
- (4) トーナメント戦においてチームの勝者数、取得本数が同数の場合は代表者戦を行う。
- (5) 代表者戦は当該の試合に出場した選手の内、任意の1名により行う。

2 個人試合

- (1) リーグ戦において時間内に勝敗が決しない試合は引き分けとし、延長戦を行わない。
- (2) リーグ戦の結果、①勝ち数(勝ち1、引き分け0.5、負け0)、②取得本数が同数の場合は順位決定戦を行う。
- (3) トーナメント戦において時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行う。

3 延長戦・順位決定戦・代表者戦

- (1) 時間を区切らず1本勝負で行う。
- (2) 3人(チーム)の順位決定戦になった場合は2連勝した選手(チーム)を1位とする。

4 不正用具使用、資格(学年・年齢、性別、段位、所属等)違反、等の処理

- (1) 当該選手を2本負けとし既得権を認めない。
- (2) 不正等が発覚した試合から(1)を適用し、発覚前の試合に遡らない。
ただし、リーグ戦においては当該選手のすべての試合に(1)を適用する。
- (3) 当該選手は失格とし、その大会ではその後の試合に出場できない。
- (4) チームが勝ち上がった場合、補欠登録があれば失格者の位置に補充可とする。

5 出場位置間違いの処理

- (1) 出場位置を間違えた選手・間違えられた選手双方に 4の(1), (2)を適用する。
- (2) チームが勝ち上がった場合、当該選手は正しい位置で試合をすることができる。
ただし、中学生の大会、高校生の大会については、それぞれ中体連、高体連の定めるところに従う。

*** 監督や審判員は不正行為や間違いが起こらないよう試合開始までに十分注意する。**

選手・監督心得

- (1) 団体試合の開始時は全剣連の要領に従い先鋒・次鋒のみが面を着け竹刀を持ち、中堅以降は面を着けずに整列する。
- (2) 試合をするチームは「赤(白)の選手席」に入り試合に臨むこと。
選手席に入れるのは、選手、補欠、及び監督(1名)のみとする。
- (3) 次に試合するチームは試合中の選手席の後方「次の赤(白)選手席」に入場し待機する。
- (4) 赤白の目印(タスキ)は各選手またはチームが持参し対戦に応じて背面に着ける。
- (5) 道具類は整理整頓し会場内の応援や通行の邪魔にならないように心がけること。
- (6) 常に竹刀や剣道具の安全点検を心掛け事故防止に努めること。
- (7) 各自、準備運動を励行し怪我の防止に努めること。